科学技術政策の立案、実施、評価といった全プロセスにおける様々な課題の相互関係表現シナリオ（案）

2012/04/16

リンク

マーケットや社会のニーズが評価基準として重視されていない

アウトプットに関する評価軸、効果的な政策評価がない

「資金獲得」が第一優先の行動規範になっていて、事業マネジメントが重視されない

一般市場では少ないインプットで大きいアウトプットしたほうが優秀なのに、役所ではその逆。そして、大学もまた同じ傾向。

行政職員の評価軸問題

エビデンスとそれを用いる意識の欠如の問題

意思決定に統計的データや、それに基づく科学的なエビデンスがないので経験や勘などに頼る決定

課題解決にむけたボトルネックが考慮されていない

解決すべき問題はすべて複合的（このツリーのように・・・）

リンク

大学の側から事業が改善されることは無い（提案がない）

事業結果に依存した次期事業展開ができないシステム

これは、「いくらがんばっても事業継続がない」ということで、大学にとっても極めて不幸な事実

大学は評価を乗り切るだけの力で事業実施

企業との連携協力などが評価されない

成果が新産業や雇用に結びついていない問題

国際化が主目的の事業ならそれを頑張るが、特になければ、イージーな国内での共同研究に流れがち

国際共同研究のほうが国内での評価が高いわけではない

国際化の遅れアジアのハブ化になれていない

リスクを取って挑戦する人が評価されない（独法でも同様）

リスクを取らない仕組みによる閉塞感

不採択になっても研究者へのフィードバック無し

結局、採択時にパワーを使い、実際の研究は惰性で進行

立案はするが、それをやり遂げられないシステム

責任体制の不明確問題

①社会の課題解決につながる事業が行われていない

②投資効果が低い事業が立案される

③状況が変わっても、検証されず進む

政策

成果が新産業や雇用に結びついていない問題

世代間の格差問題

新規の研究申請だけど、ある程度の実績がないと応募できない

個別の研究者に資金が集中する理由の一つ

既に実験データがあってある程度成果がみこめるもので申請書を記載

真にオリジナリティあるものは「萌芽タイプ」のみ。やたら倍率高い

事業開始（特に競争的資金）

別に研究資金はそれほど必要がないが、**獲得資金＝研究能力**の評価傾向が強い

ちょっと多めの研究資金で申請

合理的でない政策立案

優れた提案が出てこない

不採択

採択

事業の達成目標、検証指標が不明確

リンク

中間や最終評価の軸は主に論文や特許、シンポジウムの「数」

事後評価結果が良くても、別に次に反映されるわけでもない

ホームラン論文ではなくバントヒット論文を量産

モディファイ論文では、真の科技イノベにはつながりにくい

研究の質低下：高注目度論文の減少問題

全体的な戦略やその実施体制が不在

科技計画など大きなものはあるが、そこから行動規範となる「コア価値」はなかなかみいだせない

活きた戦略不在の問題

各課が局所最適のみでバラバラに予算要求

普段の業務が縦割りのため、俯瞰的な視点が欠如

細かい予算制度が乱立

投資効果が高い事業に集中投資できない

縦割り組織の為に、分野横断の事業が生まれにくい

融合研究の衰退問題

リンク

無駄な仕事が多く、業務が非効率で日常の雑務に忙殺

現場に行くことも研究者と会う機会も減少の一途

現場感覚と乖離した事業が産まれてしまう・・・

日常的業務圧迫による近視眼的状況の問題

審議会プロセス

申請書作成に膨大な労力

リンク

研究資金の執行が主要ミッションに

研究エフォート減少の問題

膨大な資料作製による研究時間の減少

研究費の無駄遣いや不正使用の問題

重要度や使用頻度の低い装置を購入するなど

安い機器の情報や機器の共有に関する枠組みがない

間接経費（一般経費）が減少傾向。事務のモチベーションは激減

大学本部にはマネジメントに使える金がない

運営費交付金の減少も要因

大学におけるガバナンスの低下問題

拠点やネットワーク事業の場合、高度なマネジメントが必要

事務職員に任せられず教員がマネジメントするしかない

現状では、URAが認知され信頼されていない

プロジェクトの評価軸がアウトプットだけで、マネジメントの評価は無い

教員も本来は研究者であり、マネジメントは苦手だしやりたくない

研究プロジェクトの評価問題

教員のマネジメントスキルは特に向上しない…

研究推進と予算消費を兼ねてポスドクを雇用

プロジェクトが終われば又競金を取らないといけない

いわゆるポスドク問題

ポスドク対策はある程度やっているともいえるが、一方でポスドクをどんどん増やす事業もあり、事業間の整合性がない。

個人の経験のみによるコメントの為に（エビデンスレス）、残念な研究プロジェクトを作ってしまう・・・

それなのに、獲得資金が多いプロジェクトを担当したというだけで、審議会委員になる場合も・・・

リンク

戦略不在の研究事業立案の問題

リンク